

9 さわ やか **2**76 -4006

## が んについ 知ろう

と聞くと「怖い病気」とい 期治療が開始されれば、がん もしれません。しかし、 たイメージを持つ人がいるか 罹患するといわれていて、 待できるがんもあります。 が高く、生存期間の延長が期 の進歩により、 ても身近な病気です。「がん」 種類によっては治療の効果 在 は生涯で何らかのがんに 日本人の2人に1人 早期発見・早 医療 لح つ ています。 している割合は約70%を占め

# がんを

**I⊏** {} 喫 予防しよう 煙

因となり、喫煙本数の多さや 喫煙はさまざまながんの原

> 禁煙しましょう。 クは低下するので、 遅くありません。 吸っているなら、 が長いほどがんになるリス iの若さに比例してリスクが まります。 もし今たばこを 禁煙した期 今からでも 今日から

## 飲 酒

積することで発がんリスクが 発がん物質になり、これが蓄 ア ルコー

高まります。 「1日2合」と言われてい

いわゆる「生活習慣」

が関係

食習慣などさまざまですが、

がんの原因は、喫煙や飲酒、

アセトアルデヒドという ルは体内に入る

始年 ため、 は1合以上でリスクが高まる ますが、 注意が必要です。 大腸がんや食道

煙期間

の長さ、

喫煙開:

がんん

# 事

えることが大切です。 逆に、野菜や果物を多く摂る 胃がんのリスクを上げます。 う特定の食品はありません 人ほどがんのリスクが低くな 心臓の病気だけでなく、 ります。無理なく食生活を整 をつけることができます。 分の摂りすぎは、高血圧や脳・ 絶対にがんにならないとい 普段口にするものでも気 特に 塩

## がん検診を 受けましょう

がんで亡くなっていることも 原因第1位で、3人に1人が

(出典:

国立がん

方、がんは日本人の死亡

研究センター) 事実です。

がんは、

細胞分裂のときに

がん検診は、がんを早期に発見し、早期に適切な 治療を開始することで、がんによる死亡を減少させ ることができる確実な方法です。症状があってから 病院を受診した場合、検診時よりも進行がんが多く 見つかります。

-方、がん検診では症状の出ない早期のがんを見 つけることができ、早期がんのほとんどは治癒が期 待でき、治療も軽いもので済むことが多いです。

そして、がん検診で1番大切なことは、「精密検 査をきちんと受けること」です。自己判断で精密検 査を受けない場合は、見つかるはずのがんを放置し てしまうことになります。精密検査が必要と判定さ れた場合は、 必ず精密検査を受けましょう。

### ~集団検診のお知らせ~

洞爺湖町では年に3回、集 団検診を実施しています。ま だ受けていない人は、この機 会にぜひお申込みください。

くくする(予防する)ことは

可能です。

がんを完全に予防することは できた異常な細胞の塊です。

できませんが、

がんをできに

最後の検診

①平成30年2月20日(火)午前6時30分~ 時 ②平成30年2月21日(水)午前6時30分~

所 ①健康福祉センタ ーさわやか □場

②洞爺ふれ愛セン がん検診 ■内 容





肺・前立腺がん検診 胃・大腸・

※その他、特定健診、肝炎ウイルス ・エキノコッ ス健診、ピロリ菌検査も一緒に受けられます。 ※乳がん・子宮がんは1月に集団検診を予定し ます。